

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公表番号】特表2003-527311(P2003-527311A)

【公表日】平成15年9月16日(2003.9.16)

【出願番号】特願2000-614293(P2000-614293)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/54 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 19/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/54 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月3日(2007.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 哺乳動物の被験体の組織繊維症を処置するための組成物であって、該組成物は、治療有効量のタンパク質および薬学的に受容可能なキャリアを含み、ここで、該タンパク質は、以下からなる群から選択されるアミノ酸配列：

(a) 配列番号2のアミノ配列；

(b) 配列番号 2 のアミノ酸 2 2 ～ 3 3 4 のアミノ酸配列；
(c) 配列番号 2 のアミノ酸 3 5 7 ～ 3 8 3 のアミノ酸配列；
(d) 配列番号 4 のアミノ配列；
(e) 配列番号 4 のアミノ酸 2 6 ～ 3 4 1 のアミノ酸配列；
(f) 配列番号 4 のアミノ酸 3 6 3 ～ 3 8 0 のアミノ酸配列；
(g) I L - 1 3 レセプター結合鎖の生物活性を有する (a) ～ (f) のフラグメント、を含む、組成物。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の組成物であって、前記組織繊維症が、肝臓、皮膚の内皮、皮膚の表皮、筋肉、腱、軟骨、心臓の組織、膵臓の組織、肺の組織、子宮の組織、神経組織、精巣、卵巣、副腎、動脈、静脈、大腸、小腸、胆管および腸からなる群から選択される、組織に影響を与える、組成物。

【請求項 3】 前記組織が、肝臓である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】 前記繊維症が、住血吸虫属の感染の結果である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】 前記繊維症が、創傷の治癒の結果である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】 哺乳動物被験体の組織繊維症の形成を阻害するための組成物であって、該組成物は、治療有効量のタンパク質および薬学的に受容可能なキャリアを含み、ここで、該タンパク質は、以下からなる群から選択されるアミノ酸配列：

(a) 配列番号 2 のアミノ配列；
(b) 配列番号 2 のアミノ酸 2 2 ～ 3 3 4 のアミノ酸配列；
(c) 配列番号 2 のアミノ酸 3 5 7 ～ 3 8 3 のアミノ酸配列；
(d) 配列番号 4 のアミノ配列；
(e) 配列番号 4 のアミノ酸 2 6 ～ 3 4 1 のアミノ酸配列；
(f) 配列番号 4 のアミノ酸 3 6 3 ～ 3 8 0 のアミノ酸配列；および
(g) I L - 1 3 レセプター結合鎖の生物活性を有する (a) ～ (f) のフラグメント、を含む、組成物。

【請求項 7】 請求項 6 に記載の組成物であって、前記組織繊維症が、肝臓、皮膚の内皮、皮膚の表皮、筋肉、腱、軟骨、心臓の組織、膵臓の組織、肺の組織、子宮の組織、神経組織、精巣、卵巣、副腎、動脈、静脈、大腸、小腸、胆管および腸からなる群から選択される、組織に影響を与える、組成物。

【請求項 8】 前記組織が、肝臓である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】 前記繊維症が、住血吸虫属の感染の結果である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】 前記繊維症が、創傷の治癒の結果である、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 11】 前記創傷が、外科的切開である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】 前記創傷が、外科的切開である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 13】 哺乳動物被験体の組織繊維症を処置するための組成物であって、該組成物は、治療有効量の、以下：

(a) I L - 1 3 アンタゴニストおよび I L - 4 アンタゴニストからなる群から選択される分子、ならびに
(b) 薬学的に受容可能なキャリア、を含む、組成物。

【請求項 14】 請求項 13 に記載の組成物であって、前記アンタゴニストは、以下：
I L - 1 3 b c タンパク質、I L - 1 3 R α 1 の可溶性形態、I L - 1 3 に対する抗体またはその I L - 1 3 結合フラグメント、I L - 1 3 b c に対する抗体またはその I L - 1 3 b c 結合フラグメント、I L - 1 3 R α 1 に対する抗体またはその I L - 1 3 R α 1 結合フラグメント、I L - 4 の I L - 1 3 R 結合変異体、I L - 1 3 と I L - 1 3 b c との相互作用を阻害し得る低分子、および I L - 1 3 と I L - 1 3 R α 1 との相互作用を阻害し得る低分子からなる群から選択される、組成物。

【請求項 15】 請求項 14 に記載の組成物であって、前記 I L - 1 3 b c タンパク

質は、以下からなる群から選択されるアミノ酸配列：

- (a) 配列番号2のアミノ配列；
- (b) ア配列番号2のミノ酸22～334のアミノ酸配列；
- (c) 配列番号2のアミノ酸357～383のアミノ酸配列；
- (d) 配列番号4のアミノ配列；
- (e) 配列番号4のアミノ酸26～341のアミノ酸配列；
- (f) 配列番号4のアミノ酸363～380のアミノ酸配列；
- (g) IL-13レセプター結合鎖の生物活性を有する(a)～(f)のフラグメント、を含むタンパク質である、組成物。

【請求項16】 請求項13に記載の組成物であって、前記組織繊維症が、肝臓、皮膚の内皮、皮膚の表皮、筋肉、腱、軟骨、心臓の組織、脾臓の組織、肺の組織、子宮の組織、神経組織、精巣、卵巣、副腎、動脈、静脈、大腸、小腸、胆管および腸からなる群から選択される、組織に影響を与える、組成物。

【請求項17】 前記組織が、肝臓である、請求項16に記載の組成物。

【請求項18】 前記繊維症が、住血吸虫属の感染の結果である、請求項17に記載の組成物。

【請求項19】 前記繊維症が、創傷の治癒の結果である、請求項13に記載の組成物。

【請求項20】 前記創傷が、外科的切開である、請求項19に記載の組成物。

【請求項21】 哺乳動物被験体の組織繊維症の形成を阻止するための組成物であって、該組成物は、治療有効量の、以下：

- (a) IL-13アンタゴニストおよびIL-4アンタゴニストからなる群から選択される分子、ならびに
- (b) 薬学的に受容可能なキャリア、を含む、組成物。

【請求項22】 請求項21に記載の組成物であって、前記アンタゴニストは、以下：IL-13bcタンパク質、IL-13Ra1の可溶性形態、IL-13に対する抗体またはそのIL-13結合フラグメント、IL-13bcに対する抗体またはそのIL-13bc結合フラグメント、IL-13Ra1に対する抗体またはそのIL-13Ra1-結合フラグメント、IL-4のIL-13R-結合変異体、IL-13とIL-13bcとの相互作用を阻害し得る低分子、あるいはIL-13とIL-13Ra1との相互作用を阻害し得る低分子からなる群から選択される、組成物。

【請求項23】 請求項22に記載の組成物であって、前記IL-13bcタンパク質は、以下からなる群から選択されるアミノ酸配列：

- (a) 配列番号2のアミノ配列；
- (b) 配列番号2のアミノ酸22～334のアミノ酸配列；
- (c) 配列番号2のアミノ酸357～383のアミノ酸配列；
- (d) 配列番号4のアミノ配列；
- (e) 配列番号4のアミノ酸26～341のアミノ酸配列；
- (f) 配列番号4のアミノ酸363～380のアミノ酸配列；
- (g) IL-13レセプター結合鎖の生物活性を有する(a)～(f)のフラグメント、を含むタンパク質である、組成物。

【請求項24】 請求項21に記載の組成物であって、前記組織繊維症が、肝臓、皮膚の内皮、皮膚の表皮、筋肉、腱、軟骨、心臓の組織、脾臓の組織、肺の組織、子宮の組織、神経組織、精巣、卵巣、副腎、動脈、静脈、大腸、小腸、胆管および腸からなる群から選択される、組織に影響を与える、組成物。

【請求項25】 前記組織が、肝臓である、請求項24に記載の組成物。

【請求項26】 前記繊維症が、住血吸虫属の感染の結果である、請求項25に記載の組成物。

【請求項27】 前記繊維症が、創傷の治癒の結果である、請求項21に記載の組成物。

【請求項 28】 前記創傷が、外科的切開である、請求項 27 に記載の組成物。

【請求項 29】 請求項 21 に記載の組成物であって、前記アンタゴニストが、IL-4R の可溶性形態、IL-4 に対する抗体またはその IL-4 結合フラグメント、IL-4R に対する抗体またはその IL-4R 結合フラグメント、および IL-4 と IL-4R との相互作用を阻害し得る低分子からなる群から選択される、組成物。

【請求項 30】 請求項 13 に記載の組成物であって、前記アンタゴニストが、IL-4R の可溶性形態、IL-4 に対する抗体またはその IL-4 結合フラグメント、IL-4R に対する抗体またはその IL-4R 結合フラグメント、および IL-4 と IL-4R との相互作用を阻害し得る低分子からなる群から選択される、組成物。